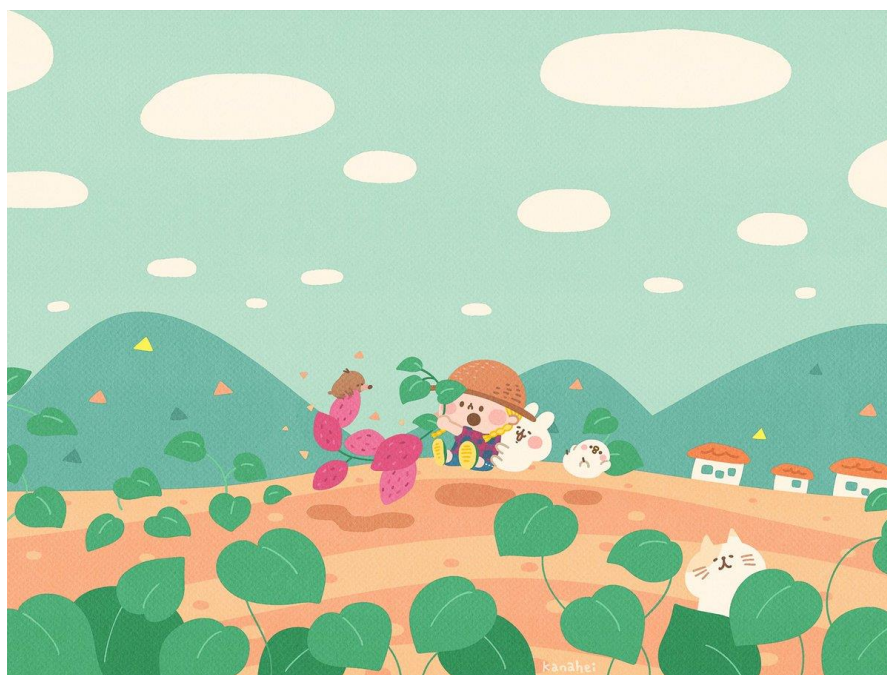


社会福祉法人 丹波市社会福祉協議会

令和4年度事業報告



社会福祉法人 丹波市社会福祉協議会

令和4年度の取り組み(総括)	1
1. 法人運営	
1) 運営基盤整備	2
①会員制度(会費)	
②善意銀行	
③第三者委員	
④福祉センター等の指定管理	
2) 他機関との協働推進	3
①ほっとかへんネット丹波	
②企業等との協働	
3) 職員研修	5
①階層別研修	
②広報研修	
③職種別研修	
2. 地域福祉事業	
1) 地域支援	7
①ふれあい・いきいきサロン活動支援	
②子ども食堂等の運営支援	
③コミュニティカフェ運営支援事業	
④福祉用具・備品の貸出し	
⑤出張教室事業	
⑥生活支援体制整備事業	
⑦地域福祉推進支援事業	
2) 当事者支援	11
①ひきこもり支援	
②しゃきょうたすけあいフードドライブ事業	
③団体事務助成及び支援	
④独居高齢者宛書状制作、発送	
⑤見舞金支給	

3) 子育て・教育支援	13
①福祉教育助成事業	
②制服等バトンタッチ事業	
③福祉教育研修会の開催	
④丹波市ファミリーサポートセンター	
⑤認定こども園助成	
4) ボランティア活動・団体支援	14
①ボランティアグループに対する活動助成	
②ボランティアまつり開催経費の助成	
③福祉団体等助成	
④ボランティア登録・派遣調整	
⑤災害ボランティア支援事業	
⑥ちーたん災害サポートネット連絡会議の開催	
⑦ボランティア養成講座・交流会等の開催	
5) 情報提供・啓発活動	18
①広報紙の発行	
②ウェブサイト・SNSの運営	
③福祉委員制度の周知と強化	
④社協ふくしまつりの開催	
⑤福祉バザー	
3. 生活支援事業	
1) 生活困窮者支援	19
①生活福祉資金の貸付（特例貸付）	
②従前の生活福祉資金の貸付	
③福祉資金の貸付	
④物品援助事業	
2) 権利擁護	20
①日常生活自立支援事業	
②無料法律相談	
③心配ごと相談	
④よろずおせっかい支縁センター・相談所	
4. 支所別地域支援目標	22
①統一目標、達成度	

②支所別地域支援目標、達成度

5. 介護福祉サービス

1) 事業所別行動目標、達成度 30

---

- ①東部ケアマネジメントセンター
- ②西部ケアマネジメントセンター
- ③ホームヘルプセンター
- ④西部デイサービスセンター
- ⑤訪問入浴サービスセンター
- ⑥相談支援事業所
- ⑦東部地域包括支援センター（介護予防）
- ⑧東部地域包括支援センター（地域包括）

2) その他の事業 39

---

- ①介護職員初任者研修（補助事業）
- ②障がい者就労支援事業（受託事業）
- ③障がい者相談支援事業（受託事業）

## 令和4年度の取り組み（総括）

令和4年度は、令和元年度に作成した地域福祉ビジョンを新型コロナウイルス感染症等によって社会が大きく変化してきたことに伴い業務改善計画を策定し、丹波市社会福祉協議会（以下「丹波市社協」という。）の運営健全化に向け「丹波市社協地域福祉ビジョン」の改定を行ってきました。また、人材育成研修計画も改定を行い、地域社会に貢献できる丹波市社協の進み方を示すことができました。

新型コロナウイルス感染症は全国的に広がりを見せ、第8波では今までにない感染者を出しました。丹波市社協も住民の方の感染が広がる中、職員の感染者も出しましたが、感染防止策の徹底を続け職場内感染を防いでおりました。しかし、西部デイサービスセンターにおいて利用者を含め感染者が出ましたので、安全を確保するために一時閉鎖をさせていただきました。以後大事に至ることなく事業の継続を行って参っております。

全国的にも経済活動が停滞する中で、丹波市社協においても生活に困窮された方の相談が増加すると共に、ひきこもる方も出てきましたので、職員研修やその対応に取り組んで参りました。

地域との連携については、感染拡大防止により地域においても活動が縮小される中で、活動再開へ向けて打合せ等を中心に連携して参りました。

また、こうしたなか、介護保険事業所の運営改善に向けて取り組んでおりますが、その効果がでるまでには至っておりません。丹波市社協地域福祉ビジョンに基づき苦しい運営状況を改善するために更なる取り組みを行って参ります。

社協の存在が地域の皆様の安心につながっていくよう、丹波市社協地域福祉ビジョンに基づき改善を着実に進めて参ります。

## 1. 法人運営

### 1) 運営基盤整備

#### ①会員制度（会費）

社協会費の実績額は下表のとおりで、前年比 99%という状況です。コロナ禍や物価高騰の影響など様々な事情がある中、変わらぬご支援・ご協力をいただき、現状を維持しています。しかしながら、人口減少や市外への転出、自治会への未加入世帯の増加などの課題があり、自治会への未加入世帯への事業チラシ・協力依頼文のポスティングや法人会員の新規依頼を行い、社協事業の周知と社協会員の拡充を推進しました。

一般会費	賛助会費	法人会費	合計
25,330,250 円	72,000 円	745,000 円	26,147,250 円
16,887 世帯	15 件	119 件	前年度比（▲246,400 円）

地域	社協会員の拡充に向けた実践内容	ポスティング、新規依頼件数
柏原	①自治会未加入世帯へのポスティング	①500 世帯（加入実績 16 世帯）
氷上	①自治会未加入世帯へのポスティング ②法人会費の新規依頼	①1,087 世帯（加入実績 39 世帯） ②12 社（加入実績 4 社）
青垣	①自治会未加入世帯へのポスティング ②法人会費の新規依頼	①66 世帯（加入実績 8 世帯） ②57 社（加入実績 14 社）
春日	①自治会未加入世帯へのポスティング ②法人会費の新規依頼	①90 世帯（加入実績 2 世帯） ②5 社（加入実績 2 社）
山南	①自治会未加入世帯へのポスティング ②法人会費の新規依頼	①113 世帯（加入実績 1 世帯） ②3 社（加入実績 1 社）
市島	①自治会未加入世帯へのポスティング ②法人会費の新規依頼	①163 世帯（加入実績 4 世帯） ②16 社（加入実績 7 社）

#### ②善意銀行

善意銀行へ預託をされた方の思いを尊重し、貴重な財源として市内での地域福祉推進のための事業に有効活用しました。

月	金銭預託件数	物品預託件数	預託金額（円）
4 月	9	11	472,125
5 月	9	13	80,406
6 月	8	10	116,000
7 月	5	12	23,101
8 月	11	15	188,600
9 月	7	14	43,168

月	金銭預託件数	物品預託件数	預託金額（円）
10月	9	11	179,000
11月	13	19	501,673
12月	19	16	463,772
1月	6	9	79,500
2月	9	8	87,756
3月	16	16	305,027
合計	121	154	2,540,128

### ③第三者委員

福祉サービスの提供に対する苦情への適切な対応により、社協の信頼や適性の確保を図るため、各施設に担当職員の表示を行うとともに第三者委員の氏名も公表しました。

また、令和5年2月22日には第三者委員会を開催し、福祉サービスの質の向上に向け苦情等の共有や意見交換を行いました。

### ④福祉センター等の指定管理

市民の福祉向上及び地域福祉活動の促進を図る拠点となる福祉センターの指定管理者として、柏原福祉センター、春日福祉センター、山南福祉センターの管理運営を行いました。

## 2) 他機関との協働推進

### ①ほっとかへんネット丹波（丹波市社会福祉法人連絡協議会＝社福連）

ほっとかへんネット丹波は、市内にある18の社会福祉法人が地域での福祉活動に参加し、福祉の充実と地域の活性化に寄与するために活動しています。令和4年度は令和3年度に実施したアンケートをもとに開催時期等を変更し、下記のような活動に取り組みました。

（会議等の開催状況）

開催日	会議・行事名	協議内容
5月17日	第1回役員会	総会に関する協議事項審議
6月13日	福祉人材確保担当者会議	8/21就職フェアに向けた調整協議
6月23日	令和4年度総会	事業報告・計画、決算報告・予算、規約改正
7月1日	DWAT基礎研修（オンライン）	社福連の活動を活かした災害支援体制の整備
7月25日	第2回役員会	当面の事業について協議
8月21日	社会福祉法人就職フェア	16法人参加、参加者11名
10月14日	実務担当者研修会	11法人20名が参加
11月1日	介護体験セミナー	未経験者を対象とする入門的セミナーの実施 参加者8名
11月11日	福祉人材確保研修会	8法人11名が参加

開催日	会議・行事名	協議内容
12月16日	令和4年度 高校生対象企業見学会	市との共催 氷上高校生6名が参加
12月28日	武庫川女子大学との打ち合わせ	“実習内容について詳細の打ち合わせ 担当教授と役員で開催”
2月27日～ 3月3日	武庫川女子大学 ソーシャル ワーク実習支援	武庫川女子大学の実習事業に協力 2回生13名参加（2クール）
3月6日～ 3月10日		
3月7日	令和4年度 高校生対象企業見学会	市との共催 氷上西高校生2名が参加
3月23日	社会福祉法人連絡協議会代表者等連絡会	会長（県社協）、事務局（オンライン参加）

## ②企業等との協働

令和元年度に買い物困難者支援協定を締結したコープこうべとの連携をさらに深めていくとともに、企業等の社会貢献を支援し、地域共生社会の実現に向けた中間支援を進めています。

### 【コープ柏原店の常設フードドライブ収集品受け取り】

支所	要請回数	活用品数
柏原	1回	33点
氷上	17回	358点
青垣	0回	0点
春日	3回	35点
山南	16回	481点
市島	3回	109点
合計	40回	1,016点

### 【支援物品受け取り】

コープこうべ第4地区本部より

受け取り日	受け取り物品
8月29日	兵庫米（無洗米）2kgパック 48袋

特定非営利活動法人eワーク愛媛より

受け取り日	受け取り物品
5月26日	食品4箱、飲料12箱
6月8日	食品11箱、飲料1箱



6月29日	食品2箱、飲料4箱、消毒液
8月18日	食品10箱、飲料2箱
9月13日	食品9箱
12月13日	飲料6箱

阪神動力機械より

受け取り日	受け取り物品
9月22日	保存水約20箱、アルファ米

【フードドライブ収集品受け取り】

コープこうべ協同購入センター丹波より

受け取り日	受け取り物品
9月20日	食品5箱、米60kg

㈱タンバンベルグより

受け取り日	受け取り物品
7月12日	食品5箱

### 3) 職員研修

#### ①階層別研修

福祉現場で働く上で身につけておきたい法律の基礎をテーマに、身近な例を取り上げながら、社協職員として負わねばならない責任や果たすべき役割について学びました。

対象	日程	内容	参加者数
一般職員	㉠8月31日(水) 9:30~11:30	契約等の基礎的法律知識 講師：神戸花くま法律事務所 田崎 俊彦 氏	16名
	㉡8月31日(水) 13:30~15:30		23名
	10月12日(水) 13:30~15:30	ホスピタリティ研修 講師：(公財)日本レクリエーション協会 津幡 佳代子 氏	39名
幹部職員 役員	9月9日(金) 13:30~15:30	福祉現場で必要な法律の基礎 講師：西神中央法律事務所 荻埜 敬大 氏	21名

#### ②広報研修

広報委員会で研修内容を協議し、研修を企画しました。

社協の活動内容を住民の皆様に適切に公開、発信ができる職員を養成するために開催しました。

開催日	内 容	参加者数
2月28日(火)	第1回 社協のための広報紙講座参加 主催：全国社協広報紙コンクール実行委員会	15名 (オンライン)
3月2日(木)	第2回 伝わる広報紙・チラシの作り方 講師：Print コーディネーター 窄口 真吾氏	14名

### ③職種別研修

コロナ禍ではありますが、徐々に研修の機会も増え、会場やオンラインでの研修に意欲的に参加しました。また、事業所別では専門分野の研修を行うなどしました。

## 2. 地域福祉事業

### 1) 地域支援

#### ①ふれあい・いきいきサロン活動支援

地域で取り組まれるサロンの運営及び活動を支援するため助成を行いました。

助成以外にも、各支所においてサロン活動のための資料提供や、運営助言などを行いました。コロナ禍で活動を自粛される団体が多い中、工夫をしながら活動される団体へ支援を行いました。

#### ②子ども食堂等の運営支援

対象となる助成金の案内や、フードドライブによる食料品等の分配などを通じて運営を支援しています。

#### ③コミュニティカフェ運営支援事業

地 域	申請自治会等
柏 原	なし
氷 上	なし
青 垣	栗住野自治会、東芦田自治会
春 日	大路地区自治協議会、国領地区自治協議会、仲町自治会
山 南	なし
市 島	友政自治会

#### ④福祉用具・備品の貸出し

	本所	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計
車いす延べ貸出し回数	0	14	56	14	29	6	20	139
レクリエーション用具延べ貸出し回数	0	93	75	24	137	105	92	526
福祉体験用具延べ貸出し回数	2	6	37	0	20	5	2	72

#### ⑤出張教室事業

自治会活動、サロンやいきいき百歳体操の自粛により出張教室事業も開催要請が少ない状況が続いています。

地 域	延べ開催回数	延べ参加人数	前年度同期	
			延べ開催回数	延べ参加人数
柏 原	7	122	2	53
氷 上	5	54	4	77
青 垣	13	185	10	148
春 日	13	372	4	171

地 域	延べ開催回数	延べ参加人数	前年度同期	
			延べ開催回数	延べ参加人数
山 南	6	139	7	102
市 島	7	85	5	74
合 計	51	957	32	625

## ⑥生活支援体制整備事業

### ●丹波支えあい推進会議（第1層）の開催状況

今年度より委員構成を変更し、地域で活動を実践されている8名で構成しました。当面の間、第2層の未設置地区及び停滞傾向の設置地区に対し、アクションを起こすことを目的としています。

開催日	会議内容
8月25日	各地区の支えあい推進会議の進捗状況、丹波支えあい推進会議の今後の方向性、意見交換
3月29日	研修：地域の支えあいについて、各地区の支えあい推進会議の進捗状況、意見交換

### ●第2層協議体の設置状況

地 域	協議体名	設置時期	主なメンバー
柏 原	柏原地域支えあい推進会議	平成30年8月～	自治協議会、民生委員児童委員、一般住民
氷 上	かどの地区生活支援推進会議	平成30年1月～	自治振興会、自治会長、民生委員児童委員、民生児童協力委員
	中央地区「和」サポート会議	令和元年5月～	自治振興会、地域づくり福祉部、成松連合区自治会長、地域活動団体、就労支援事業所、一般住民、西部地域包括支援センター
	沼貫地区自治会長・民生委員児童委員合同会議	令和2年1月～	自治振興会、自治会長、民生委員児童委員
	生郷地区支えあい推進会議	令和3年11月～	自治振興会、民生委員児童委員、民生児童協力委員
青 垣	SAJI ささえ愛い推進会議	令和元年6月～	自治振興会、自治会、民生委員児童委員、ボランティア、行政、地域包括支援センター
	一般財団法人神楽自治振興会	平成31年4月～	自治振興会理事、評議員
	芦田支え合い推進会議	令和2年7月～	自治振興会、民生委員児童委員、ボランティア、福祉委員

地 域	協議体名	設置時期	主なメンバー
春 日	春日部地区支えあい組織づくり委員会	平成 28 年 12 月～	自治会長、民生委員児童委員、福祉委員
	大路地区地域福祉委員会	平成 30 年 7 月～	自治協議会、自治会長、校区事業部、民生児童委員、コミュニティスクール、年代別委員、活動団体代表
	黒井地区福祉支えあい推進会議・意見交換会	平成 30 年 1 月～	自治協議会、自治会長、民生児童委員、サロン、いき百、老人クラブ連合会
市 島	竹田地区生活支援サービス推進会議	平成 29 年 8 月～	竹田地区自治振興会、民生委員児童委員、老人クラブ、ボランティアグループ
	いつせ支え合いの会	平成 29 年 3 月～	前山地区自治振興会、民生委員児童委員、更生保護女性会、老人クラブ、ボランティアグループ
	吉見地区生活支援サービス推進会議	平成 29 年 9 月～	吉見地区自治振興会、福祉委員（副自治会長兼務）、民生委員児童委員、ボランティアグループ、介護保険事業所、男女共同参画委員、有識者等
	鴨庄地区地域支援会議	平成 29 年 2 月～	鴨庄地区自治振興会、民生委員児童委員、福祉委員（自治会選出者）
	美和地区生活支援サービス推進会議	平成 29 年 9 月～	美和地区自治振興会、自治会、民生委員児童委員、民生児童協力委員、一般住民等

### ●第2層推進会議に対する社協からの事務支援の状況

第2層推進会議の運営に関して、主に地域支えあい推進員が各支所長・支所職員とともに開催の相談、資料の提供、会議当日の支援、報告書の整理などを行いました。

### ●くらし応援隊養成講座開催状況

くらし応援隊の新規登録に向けて開催しました。

申込者は41名、うち全3回を受講し修了した方は34名、登録者は19名でした。

開催日	場所	内容	受講者数 (既登録者含む)
11月8日(火)	柏原福祉センター	・くらし応援隊ってナニ？ ・くらし応援隊が必要なワケ ・福祉講演会『あなたにもできる！ちょっと困ったを助け合い』	35名

11月10日(木)	柏原福祉センター	・栄養、食事講座『健康寿命をのばすカギはタンパク質』 ・認知症サポーター養成講座	35名
11月15日(火)		・傾聴、コミュニケーション講座『よりそい、うけとめる傾聴』 ・活動中のくらし応援隊との交流会 ・事務手続き説明 ・修了式	39名 (内、隊員3名)

●くらし応援隊登録者の町域別登録人数

地域	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計
登録人数	5	12	9	10	13	10	59

●よろずおせっかい相談所つなぎ（地区）の開設

地域	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計
設置数	—	—	4	2	1	3	10

●丹波市いきいき百歳体操サポーターポイント制度管理

地域	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計
サポーター登録人数	7	15	5	7	14	10	58

⑦地域福祉推進支援事業

支所	校区名	申請額(円)	事業内容
柏原	柏原自治協議会	160,000	子育て交流広場、支えあい推進会議
	新井自治協議会	292,434	子ども子育て広場、夏休みチャレンジ学習、新井塾、心の健康教室、高齢者ふれあい交流、支えあい推進会議
氷上	中央地区自治振興会	296,000	中央地区「和」サポート会議、地域福祉講演会、高齢者の為の消費生活出前講座、Halloweenし CHATTA、高齢者お昼のつどい
	生郷自治振興会	160,000	生郷カフェ「いつ茶丹」、福祉講演会
	沼貫地区自治振興会	281,000	沼貫地区区民交流を兼ねた高齢者お昼のつどい、福祉講演会
	幸世自治振興会	15,972	地区ふれあいサロン開催案内チラシ作成
青垣	芦田自治振興会	91,000	支えあい推進会議
	一般財団法人 神楽自治振興会	60,000	夏休みしぐら学習教室
	遠阪自治協議会	105,700	お昼の集い、百歳体操後のつどいの場

支所	校区名	申請額(円)	事業内容
春日	黒井地区自治協議会	95,159	お昼のつどい、グラウンドゴルフ大会、 支えあい推進会議
	大路地区自治協議会	31,887	シニア向け防災・福祉カフェ
	国領地区自治協議会	12,100	よろずおせっかい相談所つなぎ設置
	船城地区自治協議会	152,000	防災研修会、高齢者お昼の集い
山南	上久下地域自治協議会	110,000	高齢者宅に友愛弁当の配布・見守り、 恐竜喫茶
	久下自治振興会	142,795	月曜サロン「ニコニコ久下」、小物づくり 教室、健康ウォーキング講座
	小川地区自治振興会	274,548	グラウンドゴルフ大会、健康ふれあいフェスタ、 ノルディックウォーキング、フラワー アレンジメントセミナー
	ふるさと和田振興会	290,000	子育てママのリフレッシュメイキング、人 権講演会、よろずおせっかい相談所つな ぎ、サロンたちばな、健康登山、元旦ジョ ギング大会
市島	竹田地区自治振興会	163,614	高齢者お昼のつどい、支えあい推進会議
	前山地区自治振興会	300,000	交流サロン、花と緑の交流活動、交流文化 祭、健康維持事業
	吉見地区自治振興会	140,000	高齢者お昼のつどい、支えあい推進会議
	鴨庄地区自治振興会	240,000	支えあい推進会議、高齢者お昼のつどい、 いきいき百歳体操、ふれあいカフェ、憩い のサロン、よろずおせっかい相談所つな ぎ、音楽によるコミュニケーションづくり
	美和地区自治振興会	230,322	いきいき美和の会、高齢者お昼のつどい
合 計		3,644,531	

## 2) 当事者支援

### ①ひきこもり支援

丹波市民、県内社協職員、ひきこもりをはじめとする社会的孤立に関心のある方を対象としたフォーラムを8月6日(土)に開催しました。丹波市社協の活動報告、丹波市社会福祉課福祉総合相談係より丹波市の現状について報告されました。

秋田県藤里町社協会長の菊池まゆみ氏より「社会的孤立を防ぐ」と題して基調講演を、パネルディスカッションにNPO法人丹波市子ども・若者サポートセンター、㈱ネクステ、NPO法人「結」、NPO法人「えん」の協力を得ました。オンライン16名、会場21名の参加がありました。

また、各支所にて6月の福祉委員会でひきこもり支援をテーマに研修を行いました。さらに、担当者がひきこもりに関しての研修に参加し各職員に伝えました。

## ②しゃきょうたすけあいフードドライブ事業

コロナ禍により生活困窮となっている世帯に対し、主に市民の持ち寄りによる食料品の提供で一時的ではありますが生活環境の改善を行いました。また、企業・団体等からも協力をいただき、たすけあいの輪の広がりを感じられるものとなりました。12月からは対象を「生活にお困りの世帯」に拡大して実施したところ、応募者がこれまでで一番多くなりました。

各支所にフードドライブの常設化を行い、フードドライブの期間外の個別相談時の対応にも柔軟に対応を行っています。

対象	内 容
<b>【提供】</b> 丹波市民 <b>【申込】</b> 丹波市内のひとり親世帯、食料品、日用品を必要とする世帯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回 8月18日、19日実施 81世帯 176人に配布 対象：コロナ禍により生活困窮となっている世帯</li> <li>・第2回 12月15日、16日実施 105世帯 260人に配布 対象：生活にお困りの世帯</li> <li>・これまで丹波市民、市内の企業、コープこうべのフードドライブ、コープ基金によるお米等の寄付、丹波市内のスーパーマーケットより空き箱の提供、善意銀行から食料品購入を行い対応</li> </ul>

## ③団体事務支援

丹波市老人クラブ連合会、丹波市身体障害者福祉協議会、丹波市手をつなぐ育成会、丹波市婦人共励会の事務に関する運営支援を行っています。

## ④独居高齢者宛書状制作、発送

地 域	暑中見舞		年賀状	
	発送者数	ボランティア延べ人数	発送者数	ボランティア延べ人数
柏 原	219	172	216	95
氷 上	324	78	324	76
青 垣	167	73	173	50
春 日	241	13	240	13
山 南	266	154	263	257
市 島	198	200	192	191
合 計	1,415	690	1,408	682

## ⑤見舞金支給

令和4年度の見舞金支給は下記のとおりでした。

支 所	区 分	件 数	金 額 (円)
氷上	火災見舞金	2	50,000
青垣	火災見舞金	1	30,000
春日	火災見舞金	2	50,000
合 計		5	130,000



### 3) 子育て・教育支援

制服等バトンタッチ事業やファミリーサポートなど、子育て世代に対する支援を行いました。  
また、小中学校、高校等における福祉教育に対し、共同募金を財源とした助成を行いました。

#### ①福祉教育助成事業

・小中学校 29 校中 24 校へ、397,815 円の助成

車イス体験	高齢者疑似体験	アイマスク 白杖体験	点字体験	手話体験	障がい者スポーツ	交流	当事者の話	その他	合計
10	5	7	8	15	7	20	4	15	91

・市内高校 3 校中 3 校へ、特別支援学校へ 186,385 円の助成

(ボランティア、地域清掃、地域イベント参加、認定こども園との交流、地域の公共施設へ花植えなど)

#### ②制服等バトンタッチ事業

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、収入が減少し生活が苦しくなった世帯に対して学用品のリサイクル事業を実施しました。(令和4年度で終了)

対象	内容
市内認定こども園保護者、小・中学校保護者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物品提供数 408 点</li> <li>・受取希望世帯数 78 世帯に 293 点を渡しました。</li> </ul>

#### ③福祉教育研修会の開催

福祉教育を担当している小中学校・特別支援学校の先生方を対象として、夏休み期間中に研修会を開催しました。

開催日	会場	研修内容	参加者数
8月22日	春日福祉センター	講義「子どもたちへの福祉の伝え方」 実技「福祉用具体験」	18名

#### ④丹波市ファミリーサポートセンター

##### (1) 講習会や研修会などの開催

開催日	名称	場所	参加者数
4月20日	サブリーダー委託・研修会	柏原福祉センター	5名
6月17日	親子ふれあい交流会		8組
7月8日	フォローアップ講習会		12名
9月15日	子育て支援講習会		9名
11月16日	子育て支援講習会		14名
12月13日	親子交流会		8組

開催日	名 称	場 所	参加者数
3月2日	AED講習会	柏原福祉センター	6名

## (2) 登録会員数

	依頼会員	協力会員	両方会員	計
令和4年度	118	75	30	223

## (3) 活動実績

アフタースクールから塾や習い事への送迎や、自宅までの送迎活動が活動実績の大半であり、短時間での活動が主です。コロナやインフルエンザ感染状況により、学級閉鎖等で送迎活動の利用の減少がみられます。

	活動延べ回数	活動延べ時間
令和4年度	291回	182時間
前年度	441回	289時間

## ⑤認定こども園助成

園児の遊び道具や絵本などの購入に助成を行いました。

助成先	申請額 (円)
認定こども園ミライズにじ	40,000
認定こども園ミライズそら	50,000
認定こども園ふたば	50,000
認定こども園いくさと	50,000
認定こども園ぬぬぎ	50,000
認定こども園さちよ	50,000
認定こども園あおがき	50,000
認定こども園かすが花の子園	50,000
認定こども園かすが森の子園	50,000
認定こども園みつみ	40,000
認定こども園わだ	50,000
認定こども園あいいくの丘	50,000
認定こども園いちじまこども園	48,000
合 計	628,000

## 4) ボランティア活動・団体支援

丹波市ボランティア・市民活動センターに登録しているボランティアグループの活動を助成支援しているほか、ボランティア登録・派遣調整、ボランティアの養成を行っています。

### ①ボランティアグループに対する活動助成

助成先	グループ数	助成額（円）
丹波市ボランティア協会	—	80,000
丹波市ボランティア協会各支部	4	320,000
丹波市ボランティア協会所属グループ	21	290,900
丹波市ボランティア協会未所属グループ	31	313,700
合 計		1,004,600

### ②ボランティアまつり開催経費の助成

コロナ感染拡大防止により、各支部とも開催中止されたため助成しませんでした。

### ③福祉団体等助成

団体名	助成金（円）
丹波市身体障害者福祉協議会	200,000
丹波市手をつなぐ育成会	0
丹波市婦人共励会	0
丹波市特別支援教育研究部	120,000
おもちゃライブラリー(2グループ)	30,000

### ④ボランティア登録・派遣調整

活動分野	登録団体数	登録人数
保健・医療または福祉の増進を図る活動	55	719
まちづくり活動	2	19
学術、文化、芸能、スポーツの振興を図る活動	26	346
環境の保全を図る活動	5	95
災害支援活動	0	0
地域安全活動	2	319
国際協力の活動	1	8
子どもの健全育成	5	55
情報社会	0	0
その他	3	31
合 計	99	1,592

### ⑤災害ボランティア支援事業

申請はありませんでした。

⑥ちーたん災害サポートネット連絡会議の開催

開催はありませんでした。

⑦ボランティア講座・交流会等の開催

講座名	開催状況
福祉学習サポーターボランティア養成講座	(本所) 基礎編 3/16 : ボランティアについて、 コミュニケーション講座 24名 実践編 3/20 : 福祉学習体験 24名
趣味から創造する生きがいつくり講座	(柏原支所) 実施なし (氷上支所) 10/6 そば打ち体験・10/13 剪定教室・ 10/20 クラフト教室を開催、延べ 19名参加 (青垣支所) 12/8 氷上西高等学校消しゴムはんこ教室開催、5名参加 12/2 フラワーアレンジメント講座を開催、16名参加 (春日支所) メッセージボランティア養成講座を開催、24名参加。 (山南支所) こども食堂開設きっかけ事業 準備を含めて計 6 回実施し、子どもから大人まで 43 名が参加 (市島支所) 実施なし
サマーボランティア体験教室	(柏原支所) アフタースクールでのボランティア活動を紹介。高校生 8 名参加 (氷上支所) 8 月 5 日 子ども食堂でのボランティア活動に 6 名が参加。児童館や複数の子ども食堂で予定していたが、感染拡大のため中止 (青垣支所) 中学生・高校生を対象にボランティアの協力により手話教室、朗読教室を実施 [手話体験] 7 月 26 日 3 名 8 月 2 日 4 名 8 月 9 日 4 名 [朗読体験] 7 月 27 日 6 名 8 月 10 日 2 名 (春日支所) 小学生を対象に福祉の話等と手話講座を実施。自治協議会の協力のもと 3 地区で開催 (2 地区は参加希望者なし) 黒井地区 7 月 25 日 2 名

講座名	開催状況
	<p>大路地区 7月30日 10名 春日部地区 8月3日 13名 (山南支所) 子育て学習センター、小川自治振興会スマホ教室、子ども食堂で中学生によるボランティア体験を実施。</p> <p>① スマホ教室 3名 ② やまなみ縁日用のモノづくり 7月27日 8名、7月28日 1名 7月29日 12名 ③ こども食堂の企画・運営 7月28日 3名、8月2日 3名 8月18日 3名</p> <p>※3事業合わせて延人数33名(実人数25名) (市島支所) 小(5・6年生)中学生対象に福祉施設でボランティア活動を実施。 7月25日～8月5日までの10日間で2施設に小学生3名、中学生1名の計4名参加</p>
サロンボランティア交流会(研修会)	<p>(柏原支所) 実施なし (氷上支所) 5月25日開催 35名(21サロン) (青垣支所) 7月20日開催 12名(9サロン) 3月10日開催 21名(13団体:サロン・いき百) (春日支所) 2月24日に開催 18名(18サロン) (山南支所) 【1回目】 6月21日 17名 6月24日 16名 ※地区を分けて開催(計33名33サロン) 【2回目】 2月24日開催 25名(25サロン) (市島支所) 実施なし</p>
図書館サポーター養成講座(全2回)	<p>中央図書館で5月28日開催 5名 6月18日開催 3名</p>
手話奉仕員養成講座(入門課程)	全20回の課程で開催 受講者27名・修了者24名
手話奉仕員養成講座(基礎課程)	全22回の課程で開催 受講者4名・修了者3名

## 5) 情報提供・啓発活動

### ①広報紙の発行

5月・7月・9月・11月・1月・3月（奇数月）に年6回発行しました。

広報委員会を社協職員で組織し、市民に読んでいただける内容を協議し実践しています。

### ②ウェブサイト・SNSの運営

ホームページは必要に応じ更新を行い、Facebookは支所を中心に順番に更新を行いました。

また、インスタグラムも活用し、主に若年層への働きかけの手段として活用しています。

### ③福祉委員制度の周知と強化

福祉委員の活動が見える化するため、活動シートへの記入を依頼し、地域での福祉活動を進めていました。

### ④社協ふくしまつりの開催

『社協ふくしまつり 2022～災害をみんなで考え ほっとかへん～』を11月26日（土）にライブピアいちじまにて開催しました。

アウトドア防災ガイドのあんどうりす氏を迎え、「暮らしになじむ ゆるっとアウトドア防災」と題した講演会、各種の表彰、災害ボランティアセンターのPR、防災用品の展示や就労支援事業所等の出店を行いました。

### ⑤福祉バザー

各支所とも、コロナ感染拡大防止の観点から中止としました。

### 3. 生活支援事業

#### 1) 生活困窮者支援

コロナ禍により収入が減少した方を対象に、全国で「新型コロナウイルス特例貸付」として緊急小口資金、総合支援資金の貸付が令和2年3月25日から始まりました。その後、約3ヶ月ごとに延長措置が繰り返され、令和4年9月末日で終了しました。

#### ①生活福祉資金の貸付（特例貸付）

◆緊急小口資金の申し込み状況（9月末で終了：社協受付分のみ）

受付月	受付件数	申込総額	申請者住所	申請累計件数
令和元年度（3月）	2件	300,000	柏原町	90件
令和2年度（年間）	255件	45,930,000	氷上町	124件
令和3年度（年間）	122件	23,090,000	青垣町	41件
令和4年4月	4件	700,000	春日町	45件
5月	9件	1,600,000	山南町	69件
6月	4件	600,000	市島町	39件
7月	4件	800,000		
8月	3件	500,000		
9月	5件	900,000		
合計	408件	74,420,000		
（うち、令和4年度）	29件	5,100,000		

◆総合支援資金の申し込み状況（9月末で終了）

受付月	初回貸付受付件数	初回貸付申込総額	申請者住所	申請累計件数
令和元年度（3月）	0件	0	柏原町	58件
令和2年度（年間）	190件	102,390,000	氷上町	96件
令和3年度（年間）	99件	53,040,000	青垣町	34件
令和4年4月	4件	2,100,000	春日町	38件
5月	2件	900,000	山南町	47件
6月	1件	600,000	市島町	37件
7月	2件	1,200,000		
8月	5件	2,550,000		
9月	7件	3,750,000		
合計	310件	166,530,000		
（うち、令和4年度）	21件	11,100,000		

・緊急小口資金と総合支援資金の合計貸付金額は240,950,000円です。

## ②従前の生活福祉資金の貸付

緊急小口資金の貸付申請が1件、教育支援資金の申請が1件ありました。(共に氷上支所)

## ③福祉資金の貸付

年度当初は生活福祉資金(コロナ特例貸付)の実施やコープのフードドライブの活用のため申請は低調でしたが、1月ごろから申込の増加が見られます。

地域	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計
貸付総件数	2	4	2	3	3	1	15

## ④物品援助事業

善意銀行への寄付金を財源として申請者に対し生活物品の支援を行いました。コープこうべの食料援助及びフードドライブ、社協の備蓄食料の配布等の活用により申請数は減少傾向でしたが、前年比で2件の増加となりました。

地域	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計
件数	0	1	1	1	1	0	4
援助額(円)	0	5,871	9,240	9,858	9,920	0	34,889

## 2) 権利擁護

### ①日常生活自立支援事業

ケアマネや市役所社会福祉課、地域包括支援センターからの相談が随時あり、新規件数は0件、解約件数は4件(死亡1、成年後見人制度移行1、施設入所2)でした。

支所	利用者(名)	R4新規件数	R4解約件数	生活支援員(名)
柏原	6	0	0	3
氷上	5	0	1	2
青垣	0	0	1	2
春日	7	0	0	2
山南	0	0	1	1
市島	2	0	1	2
合計	20	0	4	12

### ②無料法律相談

無料法律相談は感染防止対策を取りながら通常通り開設しました。

開設回数	延べ相談者数
24	128



### ③心配ごと相談

生活上の悩みごとなどについて、心配ごと相談員が助言を行い、必要に応じて関係機関へつなぎ、解決に向けた支援を行いました。(11月末で事業終了)

支 所	開設回数	延べ相談者数
柏 原	4	1
氷 上	3	0
青 垣	3	0
春 日	4	1
山 南	4	1
市 島	4	0
合 計	22	3

### ④よろずおせっかい支縁センター・相談所

身近な相談窓口として開設しています。

名称	よろずおせっかい相談所	よろずおせっかい相談所つなぎ
開設対象	社協、社会福祉法人	地域
相談件数	53	128

## 4. 支所別地域支援目標

今年度事業方針及び重点推進項目を達成していくため、下記の通り地域支援目標を定め、達成に向け努力しています。

### ①統一目標・達成度

対 象	目 標	
すべて	A	社協が独自に要支援者の情報や地域課題など、意識した情報収集を行う
	B	様々な研修への積極的な参加
自治会等	C	出張教室を5箇所以上で開催し、自治会等とのつながりをつくる
	D	自治会を単位とした地域福祉に関する懇談会を2箇所以上で開催し、現在の地域課題について共に考える
	E	ふれあい・いきいきサロンは10箇所以上を訪問し、運営等の相談に乗り支援を行う
	F	コミュニティカフェは新たに3箇所以上を支援し、地域における集いの場づくりを行う
自治協議会等	G	管内全地区を毎月1回以上訪問し、地域の状況を把握し関係をつくっていく
	H	打ち合わせ段階から、地域支えあい推進会議に地域支えあい推進員と一緒に出席する
他団体等	I	学校や企業、社会福祉法人と共に、お互いが連携できるような取組みを考える

#### 【進捗状況達成度測定基準】（支所自己評価）

◎／目標を達成、○／目標を7割以上達成、△／目標を4割以上達成、×／目標達成4割未満

#### 【統一目標の達成度】

目標	柏原支所	氷上支所	青垣支所	春日支所	山南支所	市島支所
A	○	○	○	◎	◎	○
B	○	◎	◎	◎	◎	◎
C	◎	◎	◎	◎	◎	◎
D	△	×	○	○	△	△
E	○	◎	◎	◎	◎	◎
F	△	×	◎	◎	△	△
G	◎	◎	◎	◎	◎	◎
H	◎	○	◎	◎	○	◎
I	○	○	○	○	○	○

②支所別地域支援目標・達成度

支 所	対 象	目 標	達 成 度
柏 原	自治協議会	高齢者に対する新たな取り組みの検討 →地元高校と連携してスマホ講座を検討していたが、実施できなかった	△
	自治会等	いきいき百歳体操訪問 →9回訪問し、地域の様子から情報収集に努めた	◎
	自治会・団体	出張福祉教室で支えあいシミュレーションゲームの開催と周知 →柏原地域支えあい推進会議による勉強会開催し、支所通信や新聞を通じて周知した結果、他地域等での実践につながった	◎
	福祉委員・市民	福祉委員による地域の見守り体制を整える →福祉委員活動シートへの記入を依頼した（回収率88.5%）。	○
	関係機関等	地域包括支援センター等との連携による支えあい活動の推進 →柏原地域支えあい推進会議を通じて連携を図っている	○
	ボランティア	活動現場の訪問と取材 →1グループのみ	△
	小・中・高校	講師派遣や講義による福祉学習の支援 →各小学校へ車イスやアイマスク、高齢者疑似体験等の学習支援を行った。	○
	子育て世代	子育てカフェを通じた困りごと等の情報収集と支援 →子育てカフェは開催できなかったが、フードドライブや絵本の交換ひろばを通じて情報収集と支援を行った	△
	市民・子育て世代	柏原福祉センターに絵本の交換ひろばの開設 →ファミサポの講習会等で周知したが、利用者は少なかった	○
	市民	アパート等への会費依頼と事業の周知 →ポスティングを500件、16世帯が加入	○
	法人・企業他	法人会費、法人募金の新規開拓（各+3件以上） →法人募金の新規開拓を行ったが、理解を得られなかった	△
	市民・団体	支所通信（かいばら支所だより）の毎月発行 →2ヶ月ごとに発行している	△
氷 上	福祉委員・市民	福祉委員による地域の見守り体制の整備と福祉委員の役割の周知 →福祉委員会で民生委員から地域での困り事の実態を聞くとともに福祉委員の役割の再認識と民生委員との連携を模索、	◎

支 所	対 象	目 標	達成度
		支えあい推進会議にて、福祉委員との連携の呼びかけなども行った	
	自治会等	ふれあい・いきいきサロン訪問（聞き取りアンケートの実施） →13回訪問し、参加者と話をする中で、普段の生活の様子やお困り事をお聞きした	△
		いきいき百歳体操訪問 →9回訪問し、出張教室でも百歳体操を体験していただくなど、新規開設の呼びかけも積極的に行った	◎
	自治会等	出張福祉教室で支えあいや介護予防を推進 →専門職や他機関とも連携し効果的な出張教室が開催できるようコーディネートを行った	◎
		ふれあい・いきいきサロンやいきいき百歳体操の未実施自治会等に地域の現状や集いの場の重要性を伝え、ふれあい・いきいきサロン等実施に向け推進(2箇所以上) →行政と足並みを揃え、いきいき百歳体操未実施自治会に推進のための訪問を行い、5箇所立ち上がった	◎
	ボランティア	活動現場の訪問と取材（困りごとの聞き取り） →積極的に子ども食堂やふれあい・いきいきサロンを訪問し、支所通信等に掲載し広報した	◎
		講座等をきっかけとする新規グループの立ち上げ支援 →趣味からボランティアへ繋げるための講座を全3回実施したが、ボランティアグループの新規立ち上げにはつながらなかった	△
	自治振興会等	地域福祉推進支援事業活用支援や情報交換 →効果的な活用のために、常に情報交換及び支援を行った	◎
	市民	支所通信の発行 →毎月発行し各戸配布により、細やかな情報発信を行った	◎
		自治会入りしていないアパート等への会費依頼と事業の周知 →アパート等へのポスティング1,087世帯、加入実績39世帯	◎
	法人・企業他	法人会費・法人募金・職域募金・募金箱設置場所の新規開拓 →会費：新規訪問依頼12件、加入4件、共同募金：新規訪問依頼12件、協力7件、募金箱新規依頼7箇所、設置5箇所	◎
	関係機関等	地域包括支援センター等と連携し支えあい活動の推進	◎

支 所	対 象	目 標	達成度
		→市民活動支援センター、子ども・若者サポートセンター、一般社団法人 am*am などへ支所通信を配布する際に情報交換を行っている。また、西部地域包括支援センターとは、支えあい推進会議の状況や地域の集いの場の情報交換など様々な連携を行っている	
	小・中学校	福祉学習での講義や講師派遣の支援 →4校（のべ12日）で福祉学習を実施	◎
		サマーボランティアの参加者の増加（10名以上）及び小学校へのサマーボランティア体験実施の提案 →多くの申込者があったが、コロナ感染拡大により、中止を余儀なくされ、結果的には1ヶ所での開催で6名の参加となった	△
青 垣	自治会等	サロンやいき百の未実施自治会等に地域の現状を伝え、サロン等実施に向け推進する（2箇所以上） →福祉委員を通じて出張ふくし教室の開催の呼びかけをし、2自治会で開催した	◎
		支所からの情報発信（支所通信を作成し、自治協、サロン、つどいの場等へ配布） あおがき支所通信を毎月発行 →青垣地域への全戸配布だけでなく支所通信を様々な場で配布し、情報発信をした	◎
	関係機関等	地域包括支援センター等と連携を密にし、支えあい活動の推進を行う →市民からの高齢者に関する相談をつなぎ解決に向けて連携した。地区での支えあい推進会議に参加してもらい、地域の中の個別ケースの事例発表をしてもらった。	○
	法人・企業他	法人会費や法人募金、職域募金の新規開拓を行う →法人会費1から14(16口)に。賛助会費0から3になった	◎
	市民	自治会入りしていないアパート等へ会費の協力依頼を行う →協力が1世帯から8世帯になった	◎
	ボランティア	地域ニーズに応じたボランティアグループの養成とボランティア同士の連携を強化する →市民向け・高校生向けの講座を開催し、ボランティア活動につないだ	◎
	小・中・高校	福祉学習の支援、ボランティア活動支援、学校との連携を強化する →サマーボランティアから学校内でのサークル活動へ発展、福祉学習の支援に関して担当教員へ情報提供を行った	○

支 所	対 象	目 標	達 成 度
春 日	小・中学校	サマーボランティア体験教室の参加者を5名増やす →3地区で開催し、25名参加があった。(令和3年度42名)	○
	高校	氷上高校と一緒に何らかの活動ができるよう働きかけ、活動を行う →氷上高校の文化祭にて街頭募金を実施した。	◎
	市民	自治会未加入世帯へ郵送での会員依頼。2件増やす →約70件に戸別訪問を行い2件増になった。	◎
		篤志募金者を増やす →全福祉委員に自治会内での声掛けを依頼、9件増になった。	◎
		住民が集い、交流できる場を設置する →ボランティアのためのサロンを隔月に開催している。	○
		東部地域包括支援センターと要支援者・生活困窮者の情報を共有する。 →日々の連携と、毎月チーム会議を開催し情報を共有できた。	◎
	法人・企業他	支所運営協力委員と事業所を訪問し、共同募金法人募金を5件増やす →既存事業所、新規事業所を訪問し、11件増になった。	◎
	自治会等	ふくしのお便り（生活支援・支所通信）を作成し配布する →毎月お便りを作成し、全自治会に配布した。	◎
		サロンやいき百などの地域の集いの場を毎月2回以上訪問する →のべ25か所訪問した。	◎
	自治会	ふれあいいきいきサロンへの理解と支援の要請 →自治会と福祉委員、民生児童委員等にサロンへの理解と活動への見学について周知した。	◎
	自治協議会	地域福祉推進支援事業として実行できる案を共に考える（5地区） →計画から一緒に考え、4地区から申請があった。	◎
		よろずおせっかい相談所つなぎを1ヶ所設置する →国領地区で設置した。（地区内5箇所）	◎
	ボランティア	ボランティアグループへの取材とアンケートの実施 →随時、取材と聞き取りを行い、お便り等で広報した。	◎
		見守りボランティアを養成し、活動へつなげる →養成講座を開催しボランティアが定期的集まるサロンを開催している。	○

支 所	対 象	目 標	達成度
山 南	自治会等	ふれあいいきいきサロンやいきいき百歳体操などの地域の集いの場を毎月2回以上訪問する →ふれあいサロンやコミュニティ喫茶など計20回の集いの場を訪問した。	○
		ふれあいいきいきサロンやいきいき百歳体操などの未実施自治会等に集いの場の必要性を伝え、立ち上げ支援を2箇所以上行う →未実施自治会へいきいき百歳体操の働きかけを行ったが、開催に繋がらなかった。	△
	自治振興会	情報提供や資料作成支援・広報などを行い、支えあい推進会議を2箇所を設置する →支えあい推進会議設置に向けた準備会を4ヵ所で開催したが設置には至らなかった。	△
		よろずおせっかい相談所を2箇所を設置する →働きかけが不十分で開設までつなげることは出来なかった。	△
	小・中学生	ボランティアに関する提案を3校以上行う →中学校2校に対して暑中見舞いや共同募金呼びかけポップの作成、小学校1校に対してこども食堂のボランティア活動の提案を行った。	◎
		サマーボランティア体験教室はアンケートから得た中学生の要望を反映し、参加者を10名以上にする →新たなボランティア活動を提示し、かつ活動エリア内の小学校にも案内を行い、25名の参加があった。	◎
	ボランティア	活動自粛中のボランティアグループへ新たな活動の提案を行う →活動自粛や退会者の増えているグループに対する関りができなかった。	△
		ボランティアグループの取材を3件以上行い、困り事等を把握し運営支援を行う →5グループに取材を行い、支所通信に掲載し、活動の周知や会員増加につながるよう支援した。	◎
	市民	アパート等の自治会未加入世帯へ広報、支所通信をポストインし、地域福祉（社協活動）の情報を届ける →関係団体を通じてアパート世帯にも支所通信を配布し、地域や社協活動を発信した。	◎
		会費や共同募金の依頼を自治会長会等で行う	◎

支 所	対 象	目 標	達成度
		→事前に日程を確認し、依頼可能な地区については全て対面で依頼を行った。	
	法人・企業他	事業チラシを積極的に配布し、社協事業への協力、連携を依頼する →広報等を通じて社協事業の発信は行っていたが、企業に対して積極的に配布する段階まではいけなかった。	△
		新たな職域募金に取り組む法人等または、募金箱設置施設を5箇所増やす →募金箱設置箇所を新たに9ヵ所増やした。	◎
	関係機関	社会福祉法人・地域と連携しよろずおせっかい相談所を市民へ発信する →設置地域と連携して相談所の発信は行ったが、法人との連携は出来ておらず発信ができなかった。	○
市 島	自治会等	ふれあい・いきいきサロン又はいきいき百歳体操など、地域の集いの場への訪問を毎月2箇所以上行う →毎月行えない時も、地域で出会った時や電話をかけたりして情報を把握している	○
		出張福祉教室を3箇所以上で開催する →上期は上垣自治会で開催した 下期は石原自治会、鴨庄地区自治振興会で開催した。	◎
	小・中学校	福祉学習への支援を1校以上行う →担当教員からの福祉学習の進め方などの相談に対応している	◎
		出張福祉教室を1校以上で開催する →竹田小、前山小、三輪小で実施した	◎
		サマーボランティアの新たな取り組みを計画する →子育て学習センターから、中学生ボランティアの情報収集を行った	△
	自治振興会	支えあい推進会議の打ち合わせや会議に100%参加する →全ての機会に参加している	◎
		各地区拠点施設を毎月1回以上訪問し、コミュニティ活動推進員と地域情報の交換を行う →毎月の訪問に加え、自治振興会長会を月例開催することで地域情報の交換ができている	◎
	市民	一般会費の協力依頼として、自治会未加入世帯へのポスティングを150世帯以上を行う →163世帯にポスティングを行い、4世帯の加入を得ることができた	◎



支 所	対 象	目 標	達成度
		支所通信（ふくしのお便り）を毎月発行し、自治会を通じた各戸配布により全世帯へ地域福祉の情報を届ける →毎月発行し、各戸配付ができている	◎
	法人・事業所	法人会費の協力をいただいていない事業所に対し、訪問依頼を20社以上行う →訪問依頼は16社となったが、7社の新規加入を得ることができた	○
	関係機関	東部地域包括支援センターとの連携を密にし、一体的な支援を行うため、圏域チーム会議に全て出席する →出席し、職種を越えた協議や支援につながっている	◎
	ボランティア	ボランティア協会市島支部の理事会に100%参加し、活動に必要な支援を行う →出席が難しい場合も事前に打合せし、会議後にも聞き取りをして状況把握や情報提供を行っている	○

## 5. 介護福祉サービス

### 1) 事業所別行動目標、達成度

今年度事業方針及び重点推進項目を達成していくため、下記の通り各事業所の具体的な目標を定めます。

- ①…具体的な目標数値
- ②…丹波市社協地域福祉ビジョンの実現目標である「親切丁寧・安心・安全で質の高いサービス提供」や「業務改善」のために具体的に取り組むこと
- ③…目標数値達成のために具体的に取り組むこと

#### 【進捗状況達成度測定基準】

- ◎／目標に対して取組み、目標どおり達成した。
- ／目標に対して取組み、目標どおりではないが、概ね達成した。
- △／目標に対して取組んだが目標に届かなかった。
- ×／目標に対して取組んだが目標に大幅に届かなかった。

①東部ケアマネジメントセンター

収入目標額	55,293,000 円	達成状況	53,189,586 円 (96.2%)
目 標			達成度
①ケアマネ 1 人当たりの月平均担当件数 正規：35.5 件 嘱託：32 件 臨時：26 件 ※月平均請求件数 287.5 件			×
②意見交換や相談しやすい職場環境作りに努め、月 1 回の定例会や週 1 回の朝の会で「伝達研修」「事例検討」を行い、事業所全体で知識や情報を共有し、対人援助職としての技術向上、適切な自立支援プラン作成ができるよう努めます。			○
③各自が目標数値を意識し、積極的に新規を受け入れ目標達成できるように努めます。そのために ICT 化の推進を目指し、タブレット活用などの研修会を年間 3 回以上実施し、文書管理や事業所間の情報共有等、業務効率化を具体的に進めます。			△
実績評価	<p>ケアマネとして新人の職員が 1 名異動となり、件数が少ない所からのスタートだったが、徐々に担当人数を増やすことができ下半期に入り目標件数に達した。しかし、軽度者の割合が多いことなど、収入としては目標に達成していない状況です。新規利用申込みが多く、職員は経営意識を持ち自主的に受け入れているが、死亡や入所など契約終了も多く、プラスマイナスの変動が大きい状況です。研修についてはズーム研修にも慣れ、各自の研修計画に基づき参加し、定例会や毎週の朝の会で伝達研修、事例検討等を行っています。ICT については、「ケアプランデータ連携システム」「医療連携システム」について 3 回の研修会に参加できたので、今後活用していきたい。</p>		

●東部居宅 ※R3→R4 (R3:正規4名・嘱託1名・臨時3名 R4:正規4名・嘱託1名・臨時4名) 臨時1名増													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
収入	R3(円)	4,499,600	4,361,330	4,447,340	4,295,180	4,091,050	4,274,930	4,320,120	4,276,120	4,164,780	4,257,590	4,256,340	4,051,700
	R4(円)	4,484,790	4,301,360	4,414,660	4,369,714	4,336,252	4,374,140	4,505,050	4,531,980	4,477,950	4,366,570	4,553,900	4,463,770
	R3目標値	4,360,833	4,360,833	4,360,833	4,360,833	4,360,833	4,360,833	4,360,833	4,360,833	4,360,833	4,360,833	4,360,833	4,360,833
	R4目標値	4,677,750	4,677,750	4,677,750	4,677,750	4,677,750	4,677,750	4,677,750	4,677,750	4,677,750	4,677,750	4,677,750	4,677,750
件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	R3(件)	278.0	273.5	276.0	266.0	257.5	265.5	265.5	266.0	260.0	265.5	265.0	255.0
	R4(件)	268.0	267.5	272.5	270.5	271.5	274.0	282.0	286.0	284.5	278.0	277.0	271.0
	R3目標値	252.0	252.0	252.0	252.0	252.0	252.0	252.0	252.0	252.0	252.0	252.0	252.0
R4目標値	278.0	278.0	278.0	278.0	278.0	278.0	278.0	278.0	278.0	278.0	278.0	278.0	

※介護保険事業、受託事業、補助事業収入のみ

## ②西部ケアマネジメントセンター

収入目標額	52,193,000 円	達成状況	50,117,250 円 (96.0%)
目 標			達成度
①ケアマネ 1 人当たりの月平均担当件数 正規：35.5 件 嘱託：32 件 臨時：26 件 ※月平均請求件数 271 件			×
②多様で複雑な社会ニーズに応えていくために、介護保険関係以外の研修にも積極的に参加し、習得した知識を事業所内で共有します。(一人 1 回は受講し、必ず事業所内で伝達するようにする。) また、困難な事例については、相互に助言、意見交換ができる環境づくりに努め、事業所全体で毎週継続的に検討します。			△
③月 1 回の定例会で目標額と実績を対比し、職員一人一人が目標数値に対する意識を持つるようにします。			○
実績評価	<p>令和 4 年度は、4 月当初から新規受け入れを積極的に行い、目標達成に向けて努力してきましたが、更新研修の参加者が 4 名あり、研修期間中は新規受け入れを控えていたことや、令和 5 年 1 月末から職員 1 名が療養休暇に入り、新規受け入れをストップせざるを得なかったことから、結果的には目標達成ができませんでした。</p> <p>研修については、参加の回数は個人差がありますが、各々関心のある研修に参加し、習得した知識を事業所内で伝達することができました。また、困難事例についても、毎週の連絡会で情報を共有し、お互いに相談できる環境づくりができました。</p> <p>月 1 回の定例会で、目標と実績を対比し、目標達成に向けての意識づけを行いました。</p>		

●西部居宅 ※R3→R4 正規1名減・嘱託1名増・臨時1名増 (R3:正規7名・嘱託1名 R4:正規6・嘱託1名・臨時1名)													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
収入	R3(円)	4,464,500	4,472,160	4,481,670	4,408,600	4,491,430	4,382,500	4,572,900	4,473,010	4,568,620	4,337,860	4,198,320	4,204,500
	R4(円)	4,238,600	3,992,850	4,136,170	4,078,230	4,207,830	4,159,570	4,330,050	4,209,470	4,328,860	4,252,800	4,091,960	3,931,080
	R3目標値	4,360,833	4,360,833	4,360,833	4,360,833	4,360,833	4,360,833	4,360,833	4,360,833	4,360,833	4,360,833	4,360,833	4,360,833
	R4目標値	4,349,417	4,349,417	4,349,417	4,349,417	4,349,417	4,349,417	4,349,417	4,349,417	4,349,417	4,349,417	4,349,417	4,349,417
件数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	R3(件)	282.0	279.0	279.5	276.0	278.5	275.0	285.5	280.5	281.0	268.5	257.0	259.5
	R4(件)	254.0	250.5	258.5	259.5	259.5	258.5	267.0	263.0	270.5	267.5	249.5	236.0
	R3目標値	280.5	280.5	280.5	280.5	280.5	280.5	280.5	280.5	280.5	280.5	280.5	280.5
R4目標値	271.0	271.0	271.0	271.0	271.0	271.0	271.0	271.0	271.0	271.0	271.0	271.0	

※介護保険事業、受託事業、補助事業収入のみ

### ③ホームヘルプセンター

収入目標額	180,675,000 円	達成状況	190,703,833 円 (105.6%)
目 標			達成度
①ヘルパー 1 人当たりの月平均訪問回数・時間 正規：71 回 61 時間 嘱託：55 回 53 時間 登録ヘルパー：74 回 58 時間 ※月平均訪問回数 4,283 回 月平均訪問時間 3,457 時間			○
②引き続き感染予防対策に努め、利用者の生活を支えるサービスを提供します。また、毎月の定例会で接遇や認知症等の研修を行い、ヘルパーとして必要な知識を学んでいきます。			○
③毎月、収入等実績を職員間で共有し、目標額達成についての意識向上を図ります。訪問介護の需要は今後も増加すると考えられ、ヘルパーの人員確保が大きな課題となっています。近年、問題化しているパワハラや困難事例を見逃さないよう、発見後すぐに介護保険課へ報告し、適切な対応策を図ります。また年 2 回ヘルパーの悩み相談会を開き、ヘルパーの離職防止に努めます。			○
実績評価	<p>下半期も引き続きコロナ感染予防対策を徹底して訪問業務に取り組みましたがコロナウイルス感染症の第 8 波蔓延の影響を大きく受けました。多数の陽性者や濃厚接触者が出たため、通常業務が麻痺寸前の状態まで追い込まれました。</p> <p>また人材不足の影響も大きく職員が疲弊している状況が続いています。人員不足は益々深刻化しており今後減収も避けられない状況です。今後も人材確保に尽力し、離職防止に向けてヘルパーのメンタルフォロー研修を取り入れ、精神面から支えながら目標達成に向けて努めます。</p>		

●訪問 ※R3→R4 正規1名増 (R3正規14名・嘱託2名 R4正規15名・嘱託2名)													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
収入	R3(円)	16,403,137	15,693,483	16,282,008	16,207,574	16,000,736	16,102,493	16,247,444	15,764,398	16,469,002	15,893,516	15,124,121	16,844,796
	R4(円)	15,763,315	15,911,749	15,365,660	15,218,090	15,277,228	15,756,651	15,622,257	16,364,114	16,103,985	14,110,838	14,521,998	16,234,088
	R3目標値	14,701,333	14,701,333	14,701,333	14,701,333	14,701,333	14,701,333	14,701,333	14,701,333	14,701,333	14,701,333	14,701,333	14,701,333
	R4目標値	15,056,250	15,056,250	15,056,250	15,056,250	15,056,250	15,056,250	15,056,250	15,056,250	15,056,250	15,056,250	15,056,250	15,056,250
回数・時間数	R3(回数)	4,615	4,442	4,497	4,493	4,473	4,535	4,537	4,472	4,623	4,457	4,244	4,667
	R4(回数)	4,350	4,396	4,289	4,207	4,227	4,211	4,301	4,339	4,356	3,807	3,870	4,408
	R3(時間数)	3,616	3,499	3,631	3,596	3,541	3,587	3,595	3,473	3,628	3,487	3,308	3,702
	R4(時間数)	3,422	3,444	3,355	3,321	3,377	3,381	3,407	3,372	3,440	2,978	3,071	3,518
	R3目標値(回数)	4,085	4,085	4,085	4,085	4,085	4,085	4,085	4,085	4,085	4,085	4,085	4,085
	R4目標値(回数)	4,283	4,283	4,283	4,283	4,283	4,283	4,283	4,283	4,283	4,283	4,283	4,283
	R3目標値(時間数)	3,288	3,288	3,288	3,288	3,288	3,288	3,288	3,288	3,288	3,288	3,288	3,288
	R4目標値(時間数)	3,457	3,457	3,457	3,457	3,457	3,457	3,457	3,457	3,457	3,457	3,457	3,457

※介護保険事業、障害福祉サービス事業、受託事業、補助事業収入のみ

④西部デイサービスセンター

収入目標額	74,911,000円	達成状況	60,883,254円 (81.3%)
目 標			達成度
① 1日当たりの月平均利用人数 23.1人 介護：22.8人・総合サービスA：0.3人 → 稼働率：介護76.0%・総合6.0% ※定員：介護（総合現行相当・障害含む）30人・総合サービスA（週3日）：5人			×
②朝・事業実施地域（春日地域）を広げたこと、また、サービスAの定員を1日5名（火・水・木）に増員したことで、氷上地域だけでなく春日地域からの利用増員に力をいれ、年間100回以上の利用を目指します。 無料1日利用体験（食事代650円）を有効に活用し、西部デイの良さを実感していただき、新規利用につながるよう職員全員で取り組みます。 月1回の職員会議で利用者の情報を共有し、事故防止等を検討します。また職員が共通認識を持つための研修を年1回以上実施します。			○
③毎日、職員が利用者数を気にかけるよう空き人数を書き出し、常に稼働率80%以上を目指します。 毎月、居宅介護支援事業所等へ実績報告書を持参する際、新パンフレットと利用空き状況報告書を持参し、新規利用者の確保につなげます。			△
実績評価	<p>登録者数が増えるよう、職員全員で取り組んできました。4月からの新規利用は30件登録。再利用4件。追加利用16件。支援→介護7件。死亡2件。入所14件。家人の都合などで退所6件。無料体験（8件）については、ほぼ99%新規登録に繋がっています。春日町から9名来られています。更に利用増の予定です。</p> <p>月1回の職員会議については、職員のコロナ感染等あり思うようにできませんでした。年1回の研修会も実施する事ができていません。朝の申し送り時間、申し送りノートを活用し情報共有を徹底しました。</p> <p>コロナ感染で実績が思うように上がりませんが、3年前の落ち込みにはならないと感じています。利用状況（人数）も職員全員が気に掛け、取り組んでいます。デイの様子・受入れ状況も即答し、アピールに努めています。</p>		

●西部デイ ※R3→R4 嘱託 1名減 (R3正規3名・嘱託3名 R4正規3名・嘱託2名)													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
収入	R3(円)	4,058,060	4,891,290	4,938,400	5,321,940	5,182,480	5,018,760	5,819,850	5,227,890	5,132,820	4,809,400	4,754,980	5,224,920
	R4(円)	5,358,440	5,340,000	5,474,730	4,998,950	5,027,020	5,035,890	5,033,020	5,161,930	5,046,330	3,082,900	4,831,980	5,302,970
	R3目標値	6,490,136	6,230,531	6,749,741	6,490,136	6,230,531	6,230,531	6,749,741	6,230,531	6,490,136	5,970,925	5,711,320	6,749,741
	R4目標値	6,182,542	5,935,241	6,429,844	6,182,542	6,429,844	5,935,241	6,182,542	5,935,241	6,182,542	5,687,939	5,440,637	6,429,844
延人数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	R3(延人数)	360	445	456	478	481	472	535	467	471	437	433	487
	R4(延人数)	494	487	504	467	484	473	480	490	478	283	442	501
	R3目標値	563.5	541.0	586.0	563.5	541.0	541.0	586.0	541.0	563.5	518.4	495.9	586.0
R4目標値	577.5	554.4	600.6	577.5	600.6	554.4	577.5	554.4	577.5	531.3	508.2	600.6	

※介護保険事業、障害福祉サービス事業、受託事業、補助事業収入のみ

⑤訪問入浴サービスセンター

収入目標額(補助金除く)	23,407,000 円	達成状況	18,525,467 円 (79.1%)
目 標			達成度
1日当たりの月平均利用人数 7.0 人			×
②月1回定例会を開催し、利用者の身体状況を把握し、情報共有を行います。また、ヒヤリハットの記録を職員全員で共有して対応策を協議し、事故を未然に防ぐように努めます。 職員の資質向上のため、積極的に研修に参加します。また、感染予防対策を行い、安心、安全で良質なサービスを提供します。			○
③訪問入浴車1台当たり3人体制の稼働日を増やし、月稼働率50%以上を心掛けて40%は堅持できるように努めます。 目標数値や利用空き状況を掲示し、職員一人一人の経営意識を高めます。 居宅介護支援事業所や各関連機関と月1回連携を図り、信頼関係を築くと共に新規利用者の確保につなげます。			○
実績評価	新規受け入れは断ることなく随時行っているが終末期の方が多く、長期利用は見込めない状態です。 1日7人を目標に稼働しているが上半期平均5.3人と目標には届いていません。長期利用者の死亡や施設入所等も要因の1つと思われます。また、介護度も高く、訪問時間も長くなっています。 定例会は、紙ベースで利用者の状況把握、ヒヤリハットも全員で把握し、対応策を協議し、共有しています。 感染予防対策もしっかりと行っています。研修も可能な限り、勤務調整を行いながら参加しています。 3人体制での稼働は、年度当初はスタッフの技術習得度合により、10%以下となっておりますでしたが、8月・9月には35%以上の稼働になってきています。目標には達していませんが今後も努力いたします。		

●入浴 ※R3→R4 (R2.4月正規3名 R2.6月正規2名 R2.11月正規1名 R3正規2名 R4正規2名)													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
収入	R3(円)	1,635,320	1,237,400	1,452,920	1,454,270	1,482,660	1,578,560	1,656,390	1,799,920	1,571,490	1,315,330	1,266,080	1,202,410
	R4(円)	1,301,910	1,420,520	1,475,680	1,289,430	1,653,170	1,518,390	1,314,090	1,456,950	1,784,450	1,589,910	1,649,190	1,974,070
	R3目標値	2,034,407	1,743,778	2,131,284	1,937,531	2,034,407	1,937,531	2,034,407	1,937,531	2,034,407	1,840,654	1,743,778	2,131,284
	R4目標値	1,918,607	1,822,676	2,110,467	1,918,607	2,110,467	1,918,607	1,918,607	1,918,607	2,014,537	1,822,676	1,822,676	2,110,467
件数	R3(件)	118	90	105	105	107	114	120	130	114	95	92	87
	R4(件)	94	103	107	93	119	110	95	104	127	114	118	141
	R3目標値	147	126	154	140	147	140	147	140	147	133	126	154
	R4目標値	140	133	154	140	154	140	140	140	147	133	133	154

※介護保険事業、受託事業、補助事業収入のみ

⑥相談支援事業所

収入目標額(受託金除く)	9,802,000 円	達成状況	5,851,855 円 (59.7%)
目 標			達成度
① 相談支援員 1 人当たりの月平均請求件数 正規：19.5 件 嘱託：19.5 件 臨時：17 件 ※月平均請求件数 56 件 担当件数 正規：40 件 嘱託：40 件 臨時：35 件			×
②職員の知識、技術力の向上の為、職員 1 人当たり年 2 回以上、研修を受講します。 勤務時間内にできる限り業務が終わるよう、事務の効率化を図ります。			○
③社協の窓口相談や各障がい者の研修会・交流会に年 2 回以上参加します。また地域福祉課や各支所の日常生活自立支援事業の担当者と連携を図ります。さらに 8050 問題も含め地域包括支援センターや行政との連携も深めていきます。			○
実績評価	<p>コロナ感染予防対策を徹底しつつ、研修会や交流会に積極的に参加しました。4 月より職員増になりましたが、新規が昨年より減少傾向にある。終結も多い。計画相談は目標に達していない。一般相談（受託）は月平均 22.3 件で精神障害の方の相談が 50%を占めている。家族からの相談も多くなっています。各関係機関と連携を取りながら対応できています。</p>		

●相談支援 ※R3→R4 嘱託1名増(正規1名・嘱託1名・臨時1名)													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
収入	R3(円)	524,240	515,000	431,430	505,370	373,990	404,840	475,360	416,100	338,880	672,140	454,160	506,060
	R4(円)	720,420	534,760	475,500	639,560	570,560	409,420	687,240	494,280	389,320	691,400	509,960	446,820
	R3目標値	503,417	503,417	503,417	503,417	503,417	503,417	503,417	503,417	503,417	503,417	503,417	503,417
	R4目標値	816,833	816,833	816,833	816,833	816,833	816,833	816,833	816,833	816,833	816,833	816,833	816,833
件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	R3(件)	32.0	31.0	27.0	34.0	28.0	26.0	28.0	25.0	20.0	41.0	29.0	22.0
	R4(件)	40.0	31.0	29.0	39.0	33.0	25.0	37.0	31.0	26.0	42.0	34.0	31.0
	R3目標値	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5
R4目標値	56.0	56.0	56.0	56.0	56.0	56.0	56.0	56.0	56.0	56.0	56.0	56.0	

※障害福祉サービス事業、受託事業、補助事業収入のみ



⑦東部地域包括支援センター（介護予防）

収入目標額(補助金除く)	7,422,000円	達成状況	8,419,480円(113.4%)
目 標			達成度
①ケアマネ1人当たりの月平均請求件数 正規：50件 嘱託：45件 ※月平均請求件数140件			◎
②週1回の総合相談スクリーニング開催時に個別のケースの支援の方向性を協議し、適切な支援と事故防止に努めます。			◎
③対人援助職者として専門性向上研修に、1人につき年2回以上受講します。			◎
実績評価	<p>①令和4年度から職員1名増員となり、適切な業務量でケアマネジメントができました。月平均請求件数は156件であり、目標値も上回りました。居宅介護支援事業所への委託率が少しずつ低下しているため、当センターは今後も要支援認定の方が必要なケアマネジメント・サービスが利用できるように支援していきます。</p> <p>②総合相談スクリーニングにおいて、対応困難な事例を職員全員で共有し、最良の方策・支援を検討してきました。また、ヒヤリハットも毎週全員で確認・共有し、事故防止に努めました。</p> <p>③専門職として常に技術や知識の向上意欲を持ち、一人につき2回以上の研修を受講しました。</p>		

●東部包括 ※R3→R4 (嘱託1名増)													
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
収入	R3(円)	692,670	698,450	674,890	688,060	682,060	688,060	685,140	692,280	689,520	696,900	732,180	677,520
	R4(円)	726,180	696,660	674,520	685,140	692,760	688,140	667,380	728,040	702,660	705,660	683,520	719,420
	R3目標値	491,500	491,500	491,500	491,500	491,500	491,500	491,500	491,500	491,500	491,500	491,500	491,500
	R4目標値	614,500	614,500	614,500	614,500	614,500	614,500	614,500	614,500	614,500	614,500	614,500	614,500
件数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	R3(件)	153	151	150	153	154	153	153	156	153	154	161	154
	R4(件)	157	156	154	150	152	153	151	156	157	157	154	159
	R3目標値	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110
	R4目標値	140	140	140	140	140	140	140	140	140	140	140	140

※介護保険事業、受託事業、補助事業収入のみ

⑧東部地域包括支援センター（地域包括）

目 標		達成度
①地域に出向き住民の声を聴く活動を展開します。「ちいきの保健室」を春日地域2回、市島地域2回開催します。		○
②ケースについて、関わっている事業所・あんしんセンターと連携を取り合い、支援の方向性を共有し、終結に向け協働して関わられるように努めます。 総合相談では、相談者から「何に困っているのか」、「誰が困っているのか」、「何を求めているのか」、「誰が求めているのか」を聴き取り、相談者が納得し安心されるような対応をしていきます。 毎週の総合相談スクリーニング開催時に、職員一人一人の役割が遂行できているか確認できる体制を築きます。		○
③対人援助職者として対応力向上のため、一人につき年2回以上の研修を受講します。		◎
実績評価	<p>①年間では7回開催しましたが、地区数としては春日地域2か所・市島地域で1か所でした。開催した地区では、個別に高齢者の困りごとや健康について相談を受けることができるため、今後も福祉・医療専門職が地域に出向く取組みとして継続します。</p> <p>②相談者の求めていることを丁寧に聞き取り、課題と思われることに対し専門職の視点で対応するよう努めました。総合相談スクリーニングにおいて、職員全員ですべての相談を共有し、対応状況を確認しています。</p> <p>③対人援助職として、常に技術や知識の向上意欲を持ち、一人につき2回以上の研修を受講しました。</p>	

## 2) その他の事業

### ①介護職員初任者研修（補助事業）

地域における介護の担い手の養成と就労支援を目的に開催しました。

開催期間：5月15日～12月7日まで（講義・演習20日、現場実習2日）

受講生：19名（うち18名が終了）

### ②障がい者就労支援事業（受託事業）

春日庁舎内で「ちゃれんじスペース」を運営し、障がい者の就労を支援するため、自主製品の販路拡大と安定的な仕事を確保します。

業務内容	実績額(円)	開設日数(日)
自主製品の販売（パン、手芸品、アクセサリ等）	460,910	146
喫茶	329,750	146
市役所内の軽作業	412,506	46
喫茶接客業務	4,640	3

### ③障がい者相談支援事業（受託事業）

障がい者本人や家族等を対象に、相談支援専門員が一般的な困りごとに必要な情報の提供、助言等を行います。

#### 【相談者別】

障がいの種別	知的	身体	精神	発達	高次脳機能	難病	その他	合計
実人数(名)	6	4	29	1	1	1	4	46
延べ回数(名)	26	24	170	15	1	3	9	248

#### 【相談内容別】

支援内容	福祉サービスの利用等	障がいや病状の理解	健康・医療	不安の解消・情緒安定	保育・教育	家族関係・人間関係	家計・経済	生活技術	就労	社会参加・余暇活動	権利擁護	その他	合計
延べ人数(名)	30	14	7	14	2	2	3	6	8	4	0	5	95
延べ回数(名)	80	49	22	37	2	2	5	7	28	8	0	8	248

